

# 横浜市立茅ヶ崎東小学校 令和5年度 学力向上アクションプラン

## 1 中期学校経営方針（1）学校経営中期取組目標

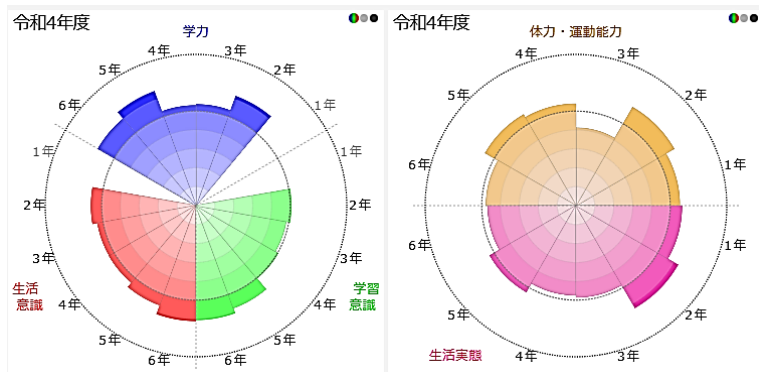
学校経営中期取組目標
<p>○全職員が学校経営に主体的に参画し、児童や保護者、地域から信頼される楽しく豊かな学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの子どもが、学習の楽しさを実感しながら、主体的に問題解決に取り組む授業を推進し、学力の向上を図ります。</li> <li>・一人ひとりの子どもが、自己有用感をもち、自他との違いを認め、大切にし合いながら安心して学校生活を送れるようにします。</li> <li>・小中一貫ブロック校や家庭、地域と連携して、地域の中でともに子どもを育む学校づくりを進めます。</li> </ul>

### （2）学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
<b>確かな学力 (学習指導)</b>	それぞれの教科で、一人ひとりが課題を発見し、体験的な活動などを通して、課題解決していく力を高めていく。	①児童の実態をもとに教材研究を丁寧に行い、学習内容、学習方法、指導のねらいなどについて共通理解を図っていく。 ②学習計画を児童と考え、児童一人ひとりが学習のめあてを意識して学習に取り組ませることで主体的な学びを構築し、資質、能力の育成を図るようにする。
<b>担当</b> 教務 横浜市学力・ 学習状況調査		

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

### （1）学力の概要と要因の分析



左の図は、今年度から実施した横浜市学力状況調査の結果である。令和3年度の調査結果から振り返ると、全体的に、横浜市の平均を上回っている学年もあれば、横浜市平均と同等の学力である学年もある。また、学習に対する意識も低い傾向にある学年も半数あることが分かった。そこから、「わかる」楽しさや「できる」喜びを実感できる授業づくりに加えて、自己有用感を高めるために、児童が主体的に学習に取り組みたくなるような授業づくりや学級経営を進めていく必要があると考えられる。

### （2）教科学習の状況

- 国語科：ほとんどの学年で横浜市の平均以上の学習意識の高さが見られた。
- 算数科：ほとんどの学年において横浜市平均以下の学習意識の低さが見られた。特に、図形に関する問題や、表やグラフを見て答える問題等で正答率が伸び悩んでいた。
- 社会科：全学年においてどの領域においても全国平均を上回っている。
- 理科：全学年においてどの領域においても全国平均を上回っている。

### （3）経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

過去3年間国語を中心として「主体的に学びを深め自分の思いや考えを表現しようとする子どもの育成」という研究主題を掲げて研究を進めてきた。そして、令和5年度に向けては、本校児童が学校生活全般や学習において「指示されたこと」はやり遂げる力を持っているが、学びを自分事としてとらえたり、自分事として落とし込み考えたりする力をつけていく必要があると分析した。そこで、令和5年度の教職員の授業研究として、児童が主体的に取り組む学級経営をもととして、児童の自己有用感を高めることにつなげて行きたいと思う。

### 3 令和4年度 学年・教科等としての具体的取組

#### 1 学年

- 国語科を中心に、身の回りのことに興味をもち、学びを楽しむことができるように授業づくりをしていく。
- 生活科を中心に、児童から出た言葉を気付きや思考のプロセスとして大切にし、他者（先生や上級生など）との関わりを通して、主体的に学習に取り組む機会を設ける。
- 年間を通して、ペア活動、仲間づくり活動を行い、安心して生活し、自己表現できる環境を整える。

#### 2 学年

- 生活科をはじめとして各教科で、体験を通して考えたことを文章に書いたり、話したり、聞いたりする表現活動を大切にする。
- 学習の喜びを実感したり、自信をもって学習に取り組んだりできるよう支援することで、学習に対する意識を高めていく。
- 国語科を中心に、身の回りのことに興味をもち、学んだことを伝え合うことができるように授業づくりをしていく。

#### 3 学年

- 学習の中で、考えを整理したり、他者に伝えたりする手段として、文章に書いたり、話したりする表現方法を大切にする。
- 国語科を中心に、みんなで問題を見つけて、みんなで解決できるように授業づくりをしていく。
- 学校が安心できる場所として学習に取り組めるよう支援することで、さらに学習意識を高めていく。

#### 4 学年

- 各教科の基礎基本を大切にし、学習を進める。
- 国語科を中心に、自ら問題を見つけて、みんなで解決できるように授業づくりをしていく。
- 課題について、ペアや小グループでの説明や意見を伝えたり聞いたりする表現活動を増やし、友達の考えとの共通点や相違点に気づくことができるようにする。

#### 5 学年

- 根拠を明確にして説明したり、意見を述べたりするなどの活動を大切にして、自信をもって学習に臨めるような指導をする。
- 理科の関心を高め、意欲的に学習に向かう態度を育てる。
- 国語科を中心に、自ら学び、問題を見出して解決していくことができるように授業づくりをしていく。

#### 6 学年

- 文章の構成を考えたり、資料を準備したりして、自分の考えがより伝わりやすくなる表現方法を工夫する。
- 自分の考えについて根拠をもって伝えるとともに、他の考えのよさに気付いたり受け入れたりすることで、思考を深めていく。
- 国語科を中心に、自ら学び、新たな問題を追及できるように、授業づくりをしていく。

#### 個別支援学級

- 個別学習の時間の充実を図り、一人ひとりにあった課題に取り組むことで、学習の楽しさを実感したり、学習への意欲を高めたりする。
- 行事や体験的な学習に向けた事前学習をすることで見通しをもって活動に参加し、人との関わりや集団行動がスムーズにできるようにする。また、その成功体験を積み重ねていく。
- 相手を意識して、自分の思いを選択したり、話したり、書いたりする表現活動に取り組む。